



昭和大学歯学部だより

2023年 11・12月号

通算第225号

総合型選抜入試・学校推薦型選抜入試・卒業生推薦入試・編入学試験が実施されました

＜入試常任委員 美島 健二＞

10月8日(日)に総合型選抜入試の一次試験, 10月28日(土)に総合型選抜入試の二次試験, 11月25日(土)に学校推薦型選抜入試・卒業生推薦入試・編入学試験が, 旗の台キャンパスで行われました。総合型選抜入試では, 募集人員を昨年度の5名より10名に変更しております。本年度は, 37名の志願者から33名(男子17名, 女子16名)の一次試験合格者が決定し, 二次試験で模擬授業および理解度の確認, 面接が実施され, 10名(男子4名, 女子6名)の合格者が発表されました。学校推薦型選抜入試の志願者は卒業生推薦入試を含めて41名で, 33名(男子15名, 女子18名)が合格しました。編入学試験は昨年度の6名から本年度は14名と志願者が増加し, 合格者は5名(男子4名, 女子1名)でした。

今後の入試日程は, 令和6年2月1日(木)に一般選抜入試Ⅰ期と大学入学共通テスト利用入試の面接試験, 3月3日(日)に一般選抜入試Ⅱ期が実施されます。教育職員の皆様には, ご協力のほど, よろしくお願い申し上げます。



学生懇談会が開催されました

＜教育委員長 船津 敬弘＞

秋期の学生懇談会が11月7日に開催されました。学生側からは2年生～5年生のクラス委員が出席し, 教員側は馬場歯学部長, 野中学生部長, 坂井教育推進室長と私が参加いたしました。講義に関しては, 今年度から65分制となった授業に対して, 講義時間や休憩時間が守られていない授業があることへの改善が要望され, 6年生からは卒業試験の解説講義を試験実施後早期に行ってほしいとの意見が出されました。実習では電子ポートフォリオの不具合について, 改修を行ってほしい旨の要望がありました。生活面では自習スペースである旗の台PBL室の予約に関することや, 生協でのICカード運用に対する要望が出されました。馬場歯学部長からは, 学生代表に対し授業や実習がより良いものとなるように, これからも意見を遠慮なく出してほしいとのお話しがございました。今後も学生と教員が一丸となって検討を行い, 学生生活の継続的な改善を図ってまいります。

- P.1 【合型選抜入試・学校推薦型選抜入試・卒業生推薦入試・編入学試験が実施されました】入試常任委員 美島 健二教授
【学生懇談会が開催されました】教育委員長 船津 敬弘教授
- P.2 【解剖慰霊祭が挙行されました】口腔解剖学講座 野中 直子教授
【イルミネーション点灯式を行いました】学生部長 野中 直子教授
- P.3 【令和5年度SCRIP日本代表選抜大会で歯学部4年の杉木秀光君が優勝しました】歯科薬理学講座 畔津 佑季助教
【D1初年次体験実習が実施されました】口腔衛生学講座 弘中祥 司教授
- P.4 【学生会が開催されました】学生会運営委員(学術部) 松田 幸子教授
【Award(受賞)】 【行事予定】 【編集後記】

解剖慰霊祭が挙行されました

<口腔解剖学講座 野中 直子>

令和5年度解剖慰霊祭が10月17日、昭和大学上條記念館において執り行われました。本年度慰霊されましたご献体は120柱で、内20柱が歯学部解剖実習のためにご献体されております。

コロナ禍の3年間は、大学関係者のみの参列で式典が執り行われておりましたが、コロナ感染症は5類になり、今年度はご遺族の皆様をお招きし、故人を偲んでいただくことができました。開式の辞に続き、物故者へのご冥福を祈り黙祷が捧げられ、昭和大学を代表して根本哲生教授が祭文を、続いて医学部・歯学部の学生代表が弔辞を述べました。歯学部からは2年生の末木佐和子さんが、全身の構造を学ぶ貴重な解剖実習の経験への感謝の気持ちと医療人になる心構えを御霊に誓いました。久光正学長はじめ歯学部からは馬場歯学部長、榎歯科病院長、美島教授、野中が参列し、参列した教職員と学生は祭壇に献花を捧げ、故人のご冥福をお祈りいたしました。



イルミネーション点灯式を行いました

<学生部長 野中 直子>

11月22日、イルミネーション点灯式が旗の台キャンパスで行われました。カウントダウンに合わせ3名の学生さんにより点灯スイッチが押されると、中庭は一瞬にして多くの色の宝石をちりばめたような彩りとなりました。当日はMASや応援指導部の出演があり、寒い中ではありましたが演奏や演舞のエネルギーで寒さも忘れ、会場は盛り上がりました。冬の風物詩となっているイルミネーションは多くの場所で開催されていますが、お帰りの際には旗の台キャンパスの正門で足を止めていただき、美しいイルミネーションで一日のお疲れを癒してください。日々のおひとり、おひとりのキラキラとした輝きが、100周年に向かってさらに昭和大学を輝かせることでしょう。



令和5年度 SCRP 日本代表選抜大会で歯学部4年の杉木秀光君が優勝しました

< 歯科薬理学講座 畔津 佑季 >

令和5年8月25日(金)に歯科医師会館で開催された令和5年度日本歯科医師会学生・クリニシャン・リサーチ・プログラム(SCRP)日本代表選抜大会で、歯学部4年の杉木秀光君が優勝しました。

杉木君はマルチドクタープログラム履修生として歯科薬理学講座の高見 正道教授と畔津 佑季助教の指導下で免疫抑制薬タクロリムス(FK506)が骨の再生に及ぼす影響について研究してきました。

大会ではその成果を英語で発表し、全国から参加した17校の歯学部学生の中から日本代表に選ばれました。次は2024年3月に米国ルイジアナ州ニューオリンズ市で開催される AADOCR/SCADA 大会で発表する予定です。



左)杉木秀光君, 右)畔津佑季助教

D1 初年次体験実習が実施されました

< 口腔衛生学講座 弘中 祥司 >

令和5年10月10日～30日にD1初年次体験実習が実施されました。今年も、山梨県内の歯科医院を見学する実習は見送り、感染対策と1年生のモチベーション教育の一環として、3班に分割して(10月17, 20, 25日)、歯科病院の診療科を見学する実習に切替えています。富士吉田の寮から朝早くバスに乗って歯科病院に9時30分くらいに到着し、やや緊張した趣で歯科病院を訪れます。すぐさま簡単なガイダンスを行ってから午前中は白衣に着替えて模型作りを。そして午後からはケーシーに着替えて、各々3つの診療科を見学して、16時には、寮への帰路に着きます。バスに乗り込む際の学生の顔は心地よい疲れですが、晴れやかで、満足気でした。また、ポリクリのD5の学生も後輩たちをサポートしていました。本実習に携わった関係諸氏にこの場をお借りして感謝致します。また、山梨県の地域歯科医院の見学が出来る日を待ち望んでおります。



学会が開催されました

＜学会運営委員(学術部)松田 幸子＞

第70回昭和大学学会総会が、令和5年12月2日(土)に対面およびハイブリッド形式で開催されました。歯学部的一般演題は26演題でした。年次報告の後、昭和大学学会学術奨励賞授与が行われました。歯学部からは昭和大学歯学部全身管理歯科学講座医科歯科連携診療歯科学部門の白倉 香子先生が受賞されました。表彰後は教育講演(1)「薬理科学研究センターの新たな取り組みについて～昭和大学の特色を生かした研究センターのモデルを目指して～(昭和大学医学部薬理学講座医科薬理学部門 木内 祐二教授), (2)「睡眠時ブラキシズム研究の現状と未来」(昭和大学歯学部歯科補綴学講座 馬場 一美教授), (3)「がんゲノム医療における保健医療学分野の担う役割」(昭和大学保健医療学部看護学科 渡邊 知映教授)が行われました。各学部の薬理学講座を統合した薬理科学研究センターの取り組みや、諸先生方の研究を知ることができ意義深い総会となりました。



Award(受賞)

第59回日本口腔組織培養学会・学術大会ベストプレゼンテーション賞

南 えりか(歯科矯正学分野 大学院4年)

行事予定

1月27日(土)・28日(日) 第117回歯科医師国家試験

2月 1日(木) 歯学部一般選抜入試(I期)・大学入学共通テスト利用入試

2月24日(土) 大学院春季II期入試(医・歯・薬学研究科)

編集後記

師走というのに関東地方などでは夏日となった12月ですが、本格的な冬を迎え寒さが一段と厳しくなってきました。年末のご多忙のおり、ご自愛くださいますようお願い申し上げます。お忙しい中、ご寄稿くださいました先生方に感謝申し上げます。

昭和大学 歯学部だより 通算225号 2023年12月発行

発行責任者：歯学部長 馬場 一美 編集責任者：広報委員会委員長 柴田 陽

11・12月号編集委員：宇山 理紗(広報委員会)

〒142-8555 東京都品川区旗の台1-5-8 TEL：03-3784-8000

ホームページ：https://www.showa-u.ac.jp